

9月定例議会にて一般質問！



県議会一般質問

令和4年9月16日、愛媛県議会9月定例議会にて、一般質問を行いました。
今回の質問は、「サイクリングしまなみ2022の準備状況」「空飛ぶクルマの社会実装に向けての取り組み」「中国ECサイトにおける県内企業の販売促進支援」「厳しい経営環境にある県内畜産業の支援」「フードバンク活動への取り組み」「交通死亡事故の現状と、年末に向けた事故抑止策」「インターハイの成果の評価と、今後の継承について」の7項目について、中村知事をはじめ担当部署長からの答弁をいただきました。

サイクリングしまなみ2022の準備状況は？

空飛ぶクルマの社会実装に向けての取り組みは？

中国ECサイトでの県内企業の販促支援は？

厳しい経営環境にある県内畜産業の支援は？

フードバンク活動への取り組みは？



トマト通信

県政レポート

愛媛県議会議員

本宮いさむ

連絡先

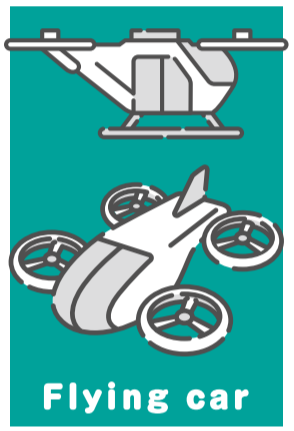
〒799-1527 今治市長沢甲 1045 番地 6
TEL0898-47-1393 FAX0898-47-1693



no. 119

発行
令和4年10月10日

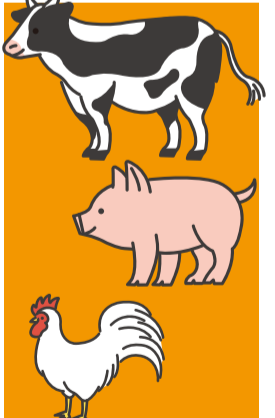
国際大会として、外国人インフルエンサーによる情報発信やバーチャルサイクリング体験イベントなど、デジタル技術も駆使。しまなみ海道の魅力やポテンシャルを国内外へ強力に発信し、サイクリングを通じて誘客促進や地域経済の活性化に結び付けたい。



Flying car

現時点では、安全面の実証に加え、機体の開発や法整備、離発着場の確保などの課題も多く、包括連携協定を締結する日本政策投資銀行と連携し、社会実装推進に向けたネットワークでの情報共有や飛行ルートの検討、物流ドローンによる実証実験に取り組み、空飛ぶクルマへの理解促進と機運醸成に取り組んで参りたい。

中国EC市場ではオリジナルなプロモーションが不可欠なことから、私と現地人気歌手とのデュエットをベースに、県産品やサイクリングなどをテーマにしたショート動画を作成し、購買力のある若い女性をECサイトに呼び込むほか、ブームとなっている地酒を新たに加えるなど、県産品の拡充を図る。さらに今後は、中国最大の「微博」において人気インフルエンサーによるプロモーションや、SNS広告の実施・分析、消費者に魅力を訴えるライブコマースなど、県のデジタルマーケティングのノウハウを駆使して販売促進に努める。



さらに、畜産農家への追加支援策として、食べ残しの削減や家畜の成長に応じた飼料給与量の最適化、スマート技術の導入による労働時間の短縮などに取り組み。これらの対策により本県畜産業が今後も安全・安心な畜産物を県民に安定供給できる生産基盤の維持・強化に努めて参りたい。

フードバンクとは
県食品ロス削減推進計画に基づき、地域の未利用食品などを有効活用。生活困窮者などへの支援を行う活動のことをいう。

県としては、今後とも県食品ロス削減推進協議会を構成する20市町や食品関連事業者、活動団体等の情報共有や連携を密にし、県民や事業者等の理解と協力のもと、「もったいないとおもいやりの心」で、生活困窮者等の支援につながる地域循環型フードバンク活動を積極的に推進して参りたい。

(裏面へ続く)

9月定例議会で一般質問！

交通死亡事故の現状と、年末に向けた事故抑止策？

の歩行者被害の事故が増加傾向にある。

このため、県警では年末に向け、緊張感を持った運転を促すための交通指導取締り等の街頭活動や、夜間歩行時における反射材の着用促進に取り組みむと

もに、夕暮れ時におけるドライ

バーの視認性確保に向けた早め

のライト点灯を

促す広報啓発や、

横断歩道をはじめ

めとする各種交

通安全施設の整

備など、効果的

な取り組みを強力

に推進して参り

たい。

【森本警察本部長答弁】交通事故要因には季節特性もあることから、県警では、過去5年間の交通事故を分析し、その結果を踏まえた交通重大事故抑止3か月対策を推進しており、横断歩行者の保護対策や、交差点の安全対策等に重点的に取り組んだ結果、現在までの交通事故は、死者数が30人と昨年同期と比べて2人減少し、発生件数と負傷者数についても、引き続き減少傾向にある。

本年の死亡事故の特徴は、昨年多発した正面衝突事故が大幅に減少した一方で、横断歩道上を含む道路横断中の事故が増加しているほか、高齢者が関与する事故が多いことなどが挙げられる。また、例年、年末にかけては、夕暮れ時



インターハイの成果と、今後の継承について？

【田所教育長答弁】今大会は、新型コロナ第7波の最中での開催となり、感染対策を徹底することにより、選手・監督約1万人、観覧者延約3万4千人に上る全国規模の総合競技大会を滞りなく開催でき、県民にスポーツの素晴らしさを実感いただけたことは、ウイズコロナ時代のスポーツ振興の好事例として、大きな意義があった。

成績面でも、計画的な選手育成の成果と地元の温かい応援の後押

しもあり、本県は優勝14件、入賞72件といずれも過去最高を記録し、後に続く子供たちのスポーツ意欲の高まりなどの効果が期待されるほか、広報や歓迎活動、競技運営など大会を支える立場でも多くの高校生が参画し、特に本県独自の企画である愛顔おもてなしブースでは、工夫を凝らした歓迎活動が来県者に好評を博するなど、参画した全ての高校生にとって、主体性や社会性、行動力の醸成を図る教育機会になったと実感している。

今後は、生徒たちが体得した経験や達成感を後輩に語り継ぎ、着実に次世代に継承するとともに、コロナ禍での大会運営を通じて得た知見やノウハウを、県民共有の財産として各種大会の運営に活かしながらスポーツ立県えひめの新たな歩みに繋げて参りたい。



【田所教育長答弁】今大会は、新型コロナ第7波の最中での開催となり、感染対策を徹底することにより、選手・監督約1万人、観覧者延約3万4千人に上る全国規模の総合競技大会を滞りなく開催でき、県民にスポーツの素晴らしさを実感いただけたことは、ウイズコロナ時代のスポーツ振興の好事例として、大きな意義があった。

コロナ・価格高騰・防災の対策に104億円

令和4年度9月補正予算

総額 104億 1,991万円

1. 新型コロナウイルス感染症への対応 22億 7,949万円

- (1) 感染拡大防止対策の強化 6,800万円
 - ① 介護事業所等サービス提供体制確保事業費 6,000万円
 - ② 高齢者福祉施設オンライン面会導入支援事業費 800万円
- (2) 中小企業者の経営改善等への支援 20億 6,750万円
 - ① 中小企業振興資金貸付金(緊急経済対策特別支援資金・伴走支援枠) 20億円
 - ② 緊急経済対策伴走支援枠金融支援事業費 6,750万円
- (3) アフターコロナを見据えた海外展開の推進 1億 4,399万円
 - ① ベトナム地域連携ビジネス展開支援事業費 3,314万円
 - ② ベトナム定期航空路線誘致促進事業費 3,473万円
 - ③ ソウル線利用回復促進事業費 5,953万円

2. 肥料・飼料価格、電気料金等の高騰対策 10億 3,275万円

- (1) 農林水産事業者への支援 6億 7,030万円
 - ① 肥料価格高騰対策支援事業費 1億 5,990万円
 - ② 畜産配合飼料価格高騰対策支援事業費 4億 2,540万円
 - ③ 養魚用飼料コスト削減促進モデル事業費 8,500万円
- (2) 子どもや子育て世帯への影響緩和策 3億 6,245万円
 - ① 県立学校施設等適正管理物価高騰対策費 1億 3,367万円
 - ② 私立学校電気料金高騰対策緊急支援事業費 1,794万円

3. 防災・減災対策の推進 43億 1,355万円

- ① 肱川水系緊急治水対策推進事業費 6億 7,579万円
- ② 県単独緊急防災・減災対策事業 35億 9,340万円
- ③ 小村トンネル建設事業費〔債務負担行為2億円〕

4. 当面する課題への対応 27億 9,412万円

- ① 海岸漂着物重点対策事業費 7,700万円
- ② 家畜防疫初動体制強化事業費 1,026万円
- ③ ふるさと納税普及啓発費 2,767万円
- ④ 財政基盤強化積立金 23億 5,750万円

令和4年度9月補正予算案は、新型コロナ感染拡大防止対策の継続・強化に加え、中小企業者への支援や、アフターコロナを見据えた海外展開の基盤づくり、農林水産事業者の支援、子どもの学習環境の維持、西日本豪雨災害への対応、集中豪雨や南海トラフ地震など大規模災害への防災・減災対策などの案件が含まれ、一般会計で104億1991万円が計上されています。

【新型コロナへの対応では、】
県内医療の危機的状況を踏まえ、保健・医療の負担軽減のための陽性者登録センターの新設や医療・福祉版の愛媛県独自の応援金の創設などを行います。
高齢者施設等におけるクラスターの発生を未然に防止する自主検査・検査キットの配布を促進。また、施設入所者と家族等の対面による面会が困難になっている状況を踏まえて、オンライン面会に使用する機器の導入を支援します。
エネルギー・原材料価格の高騰や、コロナ対応の無利子・無担保融資の返済が本格化するため、中小企業者の経営悪化

【価格高騰対策では、】
農林水産事業者に対し、肥料コストの低減による農家経営の安定化に向け、施肥の効率化や、土づくりに必要な機械設備の導入などの取り組みを支援。畜産関係者には、価格高騰の影響を受けにくい経営体制への転換を支援します。
また、養殖業者には、餌やり、給餌の効率化を図る養殖網の洗浄機器導入を支援。漁協などが組合員へ貸し出すという体制をつくりまします。
子育て世帯への影響緩和策として、学

【当面する課題では、】
南予の立入困難海岸における大量の漂着ごみの撤去を環境大臣に要望。回収処理を加速します。また、昨年度、本県で初めて発生した高病原性鳥インフルエンザへの対応の検証結果を踏まえ、次期流行期に備えます。加えて本県の認知度向上や寄附者の拡大を図るため、ふるさと納税ポータルサイトを追加・拡充します。

【防災・減災対策では、】
西日本豪雨災害で甚大な被害を受けた肱川水系の緊急治水対策を推進することも、県単独緊急防災・減災対策事業として、大規模災害に備えた緊急輸送道路や砂防施設等の整備、河床の掘削、河川管理施設の整備を重点的に実施します。

【価格高騰対策では、】
農林水産事業者に対し、肥料コストの低減による農家経営の安定化に向け、施肥の効率化や、土づくりに必要な機械設備の導入などの取り組みを支援。畜産関係者には、価格高騰の影響を受けにくい経営体制への転換を支援します。
また、養殖業者には、餌やり、給餌の効率化を図る養殖網の洗浄機器導入を支援。漁協などが組合員へ貸し出すという体制をつくりまします。
子育て世帯への影響緩和策として、学

【当面する課題では、】
南予の立入困難海岸における大量の漂着ごみの撤去を環境大臣に要望。回収処理を加速します。また、昨年度、本県で初めて発生した高病原性鳥インフルエンザへの対応の検証結果を踏まえ、次期流行期に備えます。加えて本県の認知度向上や寄附者の拡大を図るため、ふるさと納税ポータルサイトを追加・拡充します。